

Concerning IOND University's Products : Health Foods 'Yaku-Oh' Series - Greeting the President Fidel V. Ramos in Philippines -

Vice- President, Prof., Drs. Tohru Shimizu, Ph.D. (IOND University)

This time, in the memorial research announcement of the international education conference at this Philippines International Conference Palace, President Ramos is met, it is really honored for my letting me do a research announcement about the main material "Yaku-Oh Kaigen"; 'Squalene' which is the development product of this learning, and about the important material that the "Yaku-Oh Sangen" series that it will be sold soon has. I'll explain about their merits and improval action.

First, I want to report about the "Yaku-Oh Kaigen" of the research and development product which depends on the Marine Research Laboratory of this learning. As for this, the raw material added Beta-Carotin to the liver oil extracted from a kind of liver of deep sea shark ; Centrophoridae.

．．． (Omitted on the way.) ．．．

Not only the clinical provement items but also scientific improvement actions of the material of 'Squalene' contained in the "Yaku-Oh Kaigen" are the following ones.

The growth repression action of the new blood vessel of cancer cell.

The activated action of the brain cell(et al.) by DHA being contained.

The fusion action of the blood stopper by EPA being contained.

Anti-oxidization (rejuvenation) action by vitamin A, a vitamin E being contained. Prevention action from night blind. Action for getting into good trim, et al.

In blood, the activation of the immunity cell.

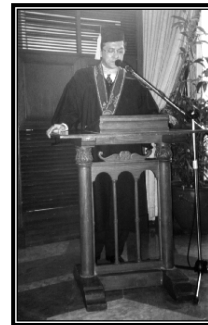
Detoxication and sterilization action. permeation action.

action (others). ．．． (Omitted on the way.) ．．．

Next, about the new product "Yaku-Oh Sangen" series that it will be sold in the new year (2005).

The material of 'squalene' restrains the growth of the new life blood vessel of the cancer cell. On the other hand, concerning the new product "Gansutoppu", 'Phellinus Linteus (called as 'Meshimakobu' ; a kind of musroom)' contained in "Gansutoppu" and its manifold activate immunity cells in blood to attack a cancer cell, germ, virus et al., and it strengthens the striking power. Specially, the material of 'Fucoidan : the material contained by Mozuku (a kind of seaweed) and Kombu (a sea tangle, kelp)' gives the suicidal switch (gene) of the cancer cell a stimulus, and the action (apoptosis) which extinguishes a cancer cell itself is confirmed. Synergism is seen by taking it with that squalene, and this material is endless, and it is turned to the cancer eradication, and it must become one of the means which should become mankind's guidepost by the triple attack to the so-called cancer cell. It is the next figure to be easy to understand and to illustrate it (Please see the Japanese figure in the next page). ．．． (Omitted on the way.) ．．．

At the end, when this product was introduced to President Ferdinand Edralin Marcos's lady Mrs. IMELDA, as well, when the impression was asked about the "Yaku-Oh Kaigen" delivered as a trial in March, 2004 about one month ago, she was extremely glad in a smile. And she said 'It's so good. Thank you.'



【Profile】 Prof. Drs. Tohru Shimizu, Ph.D. had ever again learned the country wealth argument by one person of the research groups which consist of four people who move Tokyo University President (Dr. Kazuo Ohkouchi) to the center, Prof. Dr. Kyouji Tazoe in the graduate school age. After that, mankind argument research was done individually in Harvard University and University of London from the visual angle like pluralism. The theme was "the way which mankind should walk". Though he had been a teacher of Hokkaido University before, he had ever belonged to GE (An International major Enterprise : General Electric Company) as well before. And he has now five kinds of Doctoral Degrees.

The average life span will be put off certainly in the Philippine republic if it lets me spread together by all means with the economic development though a health food doesn't seem to be general yet, too. Thank you so much.

【Photo】 Seen from left to right, the first is Dr. Tohru Shimizu (IOND University), the fourth is the former president Ramos, the fifth is Dr. Halun the chancellor of MSU, and the first right is Governor of Tawi-Tawi. (April 17th, 2004). Others : Prof. Ikuro Nakano, Prof. Masao Kaneko, et al.

【写真】 着座1番左:米国イオンド大学教授清水徹博士。同じく左から4人目比国ラモス前大統領、MSU学長ハリン博士。そして、最右座が比国 Tawi-Twai 知事。(2004年4月17日) その他、中野隆雄教授、金子正生教授等も出席した。

【 概 略 邦 訳 】

(本記念講演スピーチは、国立ミンダナオ大学との姉妹校締結記念、並びに、産学協同の精神に基づいて行なわれた。)

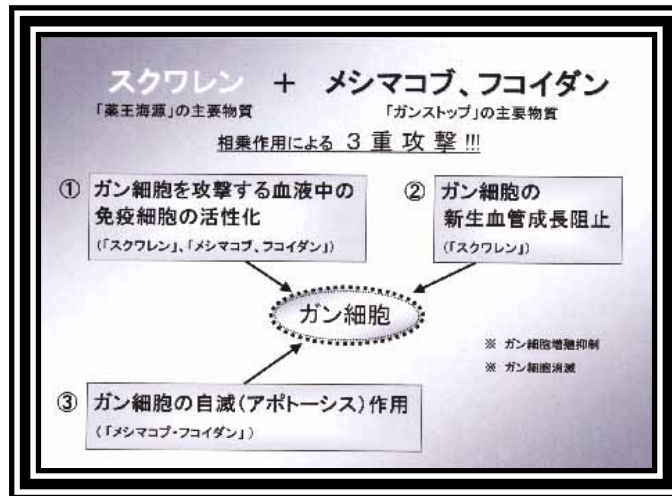
このたび、ここ比国国際会議場におけます国際教育会議の記念講演スピーチの中で、ラモス大統領をお迎えし、本学の開発製品である「薬王海源」の主要物質スクワレンに関して、また、近く発売予定の「薬王山源」シリーズの主要物質について、記念講演スピーチをさせていただきますことは、誠に光栄に存じます。それらの製品のすばらしさ、つまり、改善作用について、説明させていただきます存じ上げる次第で御座居ます。

まず、本学の産学協同によります研究開発製品の「薬王海源」についてお話ししたいと存じます。これは、原料は、アイザメという深海サメの一種の肝臓より、特殊に抽出した生肝油にベータカロチンを加えたものであります。・・・(途中省略)・・・

「薬王海源」に含有されているスクワレンという物質の改善作用で臨床的のみならず、科学的にも証明されている事項としては、次のようです。

ガン細胞の新生血管の成長抑制作用、 DHA が含有されていることによる脳細胞の活性化作用、 EPA が含有されていることによる血栓の融解作用、 ビタミン A、 ビタミン E が含有されていることによる抗酸化(若返り)作用、夜盲症予防作用、体調を整える作用等、 血中免疫細胞の活性化、 解毒・殺菌作用、 浸透作用、 鎮痛作用、(他) ・・・(途中省略)・・・

次に、年内中に発売予定の新製品「薬王山源」シリーズについて。スクワレンという物質がガン細胞の新生血管の成長を抑えるのに対して、「ガンストップ」に含まれているメシマコブ(キノコ類)菌糸体や子実体、それにフコイダン(モズクや昆布に含有されている物質)という物質は、ガン細胞を攻撃する血液中の免疫細胞を活性化させ、その攻撃力を強めるばかりではなく、特に、フコイダンは、ガン細胞の自殺スイッチ(遺伝子)に刺激を与え、ガン細胞自ら消滅させる作用(アポトーシス作用)が確認されています。これらの物質は、先程のスクワレンと一緒に摂取することによって、相乗作用が見られ、いわゆるガン細胞への三重攻撃によって、限りなく、ガン撲滅へ向けて人類の道しるべとなるべき手段の一つとなるに違いありません。解りやすく図解したのが、次の図であります。・・・(途中省略)・・・



最後に、マルコス大統領のイメルダ夫人にも紹介させて頂きましたところ、約1ヶ月前の2004年3月にお試しとしてお渡ししてあった「薬王海源」についてお伺いしたところ、「これはいいですね。有難う御座居ます。」と、笑みを溢され、たいへんに喜ばれて居られました。

フィリピン共和国では、健康食品はまだまだ一般的ではないようですが、ぜひ、経済発展とともに流布させて頂ければ、きっと、平均寿命も一層延びるのではないのでしょうか。御静聴、誠に有難う御座居ました。(了)

国際教育会議記念講演スピーチに関連する基礎データの紹介

本学海洋研究所・食品研究所の販売代理店は、2005年1月現在で、480店舗を越え、今後も好評に付き、お陰様にも拡大傾向にあります。従って、そこから御協力を願ったり、収集させて頂いたデータサンプル数は、膨大な数にまで及びますが、紙数の関係もあるため、御参考までに、今回は、その代表的な実例をご紹介致したいと存じます。次のグラフは、癌（胃部）全摘出外科手術を行ない、糖尿病と高血圧症の合併症状態にあった65歳男性の元患者H.S.氏の回復実例です。（次ページ検査グラフとも合わせて参照）

表1 癌患者の「薬王海源」摂取に見る血液一般検査の改善推移状況

検査項目	検査日 基準値(単位)	検査日						
		2002.8.12	2002.11.11	2003.1.20	2003.4.21	2003.7.28	2003.10.27	2004.1.22
白血球(WBC)	40 ~ 80 (10 ⁴ /μl)	65	62	53	56	79	78	44
赤血球(RBC)	450 ~ 550 (10 ⁴ /μl)	* 424	* 438	* 447	* 443	* 448	* 442	455
ヘモグロビン(Hb)	13 ~ 17 (g/dl)	* 10.9	* 10.9	* 12.5	14.3	14.5	14.4	14.5
ヘマトクリット(Ht)	40 ~ 50 (%)	* 34.1	* 34.7	* 39.3	43	42.9	41.3	43.2
平均赤血球容積	80 ~ 95 (fl)	80.4	* 79.2	87.9	* 97.1	* 95.8	93.4	94.9
赤血球色素量	28 ~ 33 (pg)	* 25.7	* 24.9	28	32.3	32.4	32.6	31.9
赤血球色素濃度	31 ~ 35 (%)	32	31.4	31.8	33.3	33.8	34.9	33.6
血小板(P1t)	16 ~ 36 (10 ⁴ /μl)	33	33.1	25.5	22.2	29.7	24.5	25.9
Band	0 ~ 2 (%)	0.5						
Seg	25 ~ 65 (%)	63.5	40	59.5				
Neutro	39 ~ 73 (%)				58.2	45.5	57.6	47.2
Eos	0 ~ 8 (%)	1.5	1	3	1.1	1.8	1.3	1.4
Baso	0 ~ 2 (%)	1	0.5		0.2	0.3	0.3	0.2
Ly	20 ~ 55 (%)	28.5	53	32.5	33.6	46.2	37.2	45.5
Mo	2 ~ 12 (%)	5	5.5	5	6.9	6.2	3.6	5.7
D - カウント		200	200	200				
乳び		(-)	(-)	* (+ -)	(-)	(-)	(-)	(-)
清血		(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
総蛋白	6.7 ~ 8.3 (g/dl)	7	7.1	* 6.6	6.7	7.3	6.8	7
アルブミン	3.8 ~ 5.3 (g/dl)	4.3	4.3	3.9	4.1	4.4	4.2	4.2
A/G	1 ~ 1.7	1.59	1.54	1.44	1.58	1.52	1.62	1.5
Na	135 ~ 147 (mEq/l)	143	144	145	143	142	142	142
Cl	98 ~ 108 (mEq/l)	* 110	* 109	* 109	108	108	107	106
K	3.6 ~ 5.0 (mEq/l)	4.1	4.1	4	4.1	4	4.2	3.8
尿素窒素	8 ~ 22 (mg/dl)	12	13	18	17	17	18	20
クレアチニン	0.6 ~ 1 (mg/dl)	0.7	0.6	0.7	0.8	0.7	0.7	0.7
総ビリルビン	0.3 ~ 1 (mg/dl)	0.52	0.61	0.52	0.52	0.39	0.71	0.77
AST(GOT)	8 ~ 38 (U/l)	24	19	17	18	18	23	22
ALT(GPT)	4 ~ 44 (U/l)	35	18	14	18	18	34	26
ALP	104 ~ 338 (U/l)	* 354	* 369	338	* 364	* 386	* 356	303
LDH	106 ~ 211 (U/l)	147	151	149	143	149	143	150
コリンエステラーゼ	203 ~ 460 (U/l)	229	256	228	266	282	272	279
血糖	70 ~ 120 (mg/dl)	* 165	* 211	* 138	108	84	* 153	120
HbA1C	4.3 ~ 5.8 (%)	* 6.2	* 6.6	* 6.2	* 6.2	* 6.6	* 6.4	* 6.3
総コレステロール	125 ~ 220 (mg/dl)	185	209	174	196	194	200	193
中性脂肪	~150 (mg/dl)	145	95	* 241	* 256	* 172	107	72
CRP	~0.299 (mg/dl)	0.1	0.1	0.1	0.1	0.25	0.1	0.1
CEA	~4.99 (ng/ml)	1.3	1.6	1.6	1.8	2.1	2.3	3.5
CA19-9	~36.9 (U/ml)	2	2	2	2	4	4	3
異常値項目数		8	9	9	5	5	4	1

[出所]箕面市立病院（大阪府）にて受診、採血。

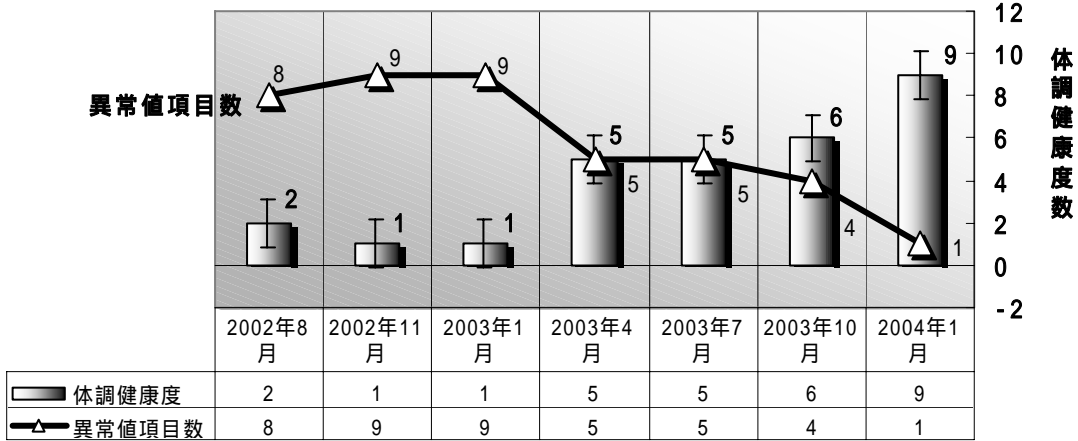
[注]基準値の範囲外の検査数値については、*マークを施した。これらの数値は、ダブル・ブラインド試験によるデータ結果である。
[解説]癌患者、男性64歳、2002年7月1日、胃部全摘外科手術。2003年3月初頭より「薬王海源」1日10粒程度を毎日摂取。本試験後の体調や血液データにも異常は全く見られず、また、このデータ結果からは、試験前後における日常生活上の他条件（環境）がほぼ同一であったことから、「薬王海源」摂取による改善作用が明らかに極めて高い信頼度で認められる。健康栄養補助食品の検査としては、治験レベルでのチェックは非常に困難が伴うため、ほぼ最高の検査であったと察せられる。

表1に見られるように、血液の一般検査の結果、「異常値項目数」(表1データの一番最後の行)は、「薬王海源」を摂取する前の9項目から、1日8粒を毎日摂取し始めてから3ヵ月後の検査で5項目へと減少し、さらに摂取を続けてその9ヵ月後には1項目までへと確実に減少を見せ、一般の健常者より、むしろ正常な数値はるかに多く打ち出されていることが判明した。これを解りやすくグラフ化したものが、下のグラフである。

「薬王海源」摂取によるガン患者(胃全摘)の手術後の回復状況

被験者:H.S.氏(東京都在住)、男性、64歳

2002年7月全摘手術、2003年3月より「薬王海源」1日8粒毎日摂取

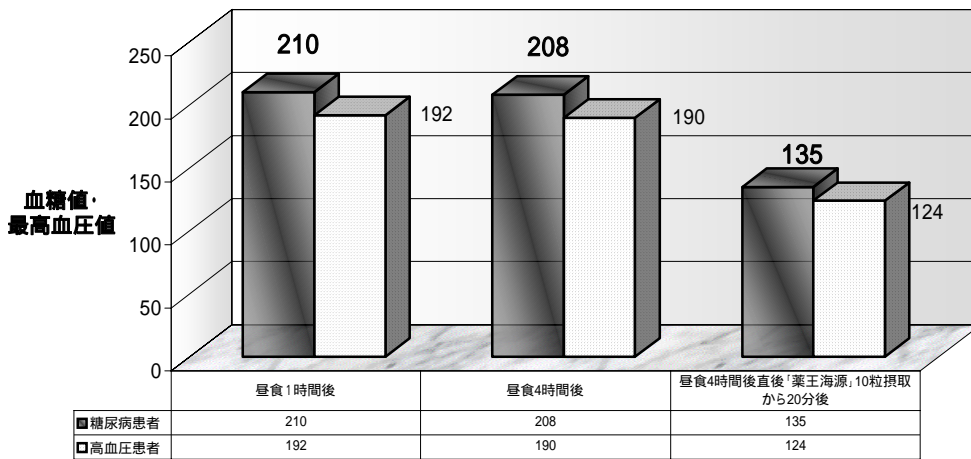


[注]体調健康度数については、10段階表示とした。1~2: 体調が非常に悪い。3~4: 悪い。5~6: ぶつう。7~8: よい。9~10: たいへんに良い。尚、異常値項目数は、前ページの表1に基づく。

本学海洋研究所がこれまでの約2年間に及ぶ理論と実証の両研究の結果、「薬王海源」(深海サメ(アイザメ)生肝油主要物質: スクワレン、DHA、EPA、ビタミンA、ビタミンEに、さらに、ベータ・カロチン<体内でビタミンA変換>)は、個人差は認められるものの、3~6ヶ月間の毎日の摂取により、その改善作用は、これまでの試験と利用者からの声も重要視しつつ、7~8割の被験者に見られることが判った。

「薬王海源」に見る糖尿病患者・高血圧患者への改善作用実例

(被験者:H.S.氏、男性64歳、時:2003年8月6日、検査所:イオンド大学海洋研究所)



このような200~300年余りの長い歴史から生み出された膨大なる安全性・無毒性の再確認と改善作用を及ぼした「スクワレン」等の含有物質の普及性、日本食品分析センターによる成分分析結果、そして本学による上記の科学的データ検証も合わせて、本学開発の製品を広く世に紹介したいところである。
(以上は、「薬王海源」)

新産学協同開発製品「ガンストップ」,「キオクアップ」紹介に関するモニター結果

【緒言】 成人健常者 10 名を対象に本学新製品「ガンストップ」,「キオクアップ」に関するモニターを採った。「ガンストップ」に関しては、主に、メシマコブ (Mecimacob, PL8) とモズクから採取した良質のフコイダン (Fucoidan) を配合した製品で、一方、「キオクアップ」に関しては、イチョウ葉エキス (Essence of Ginkgo leaf) ナットウキナーゼ (Soybean Kinaze) ビタミン E (Vitamin E) が主要成分となっている。

【目的】 確かな効果を期待し得る素材の配合によって開発誕生した、異なる作用の 2 製品に関する「ガンストップ」,「キオクアップ」を毎日 1~2 包 (1 包 1000mg) 摂取することによって、体調にどのような変化を感じたか、また、安全性や副作用に関して、モニターレベルで再確認することにある。

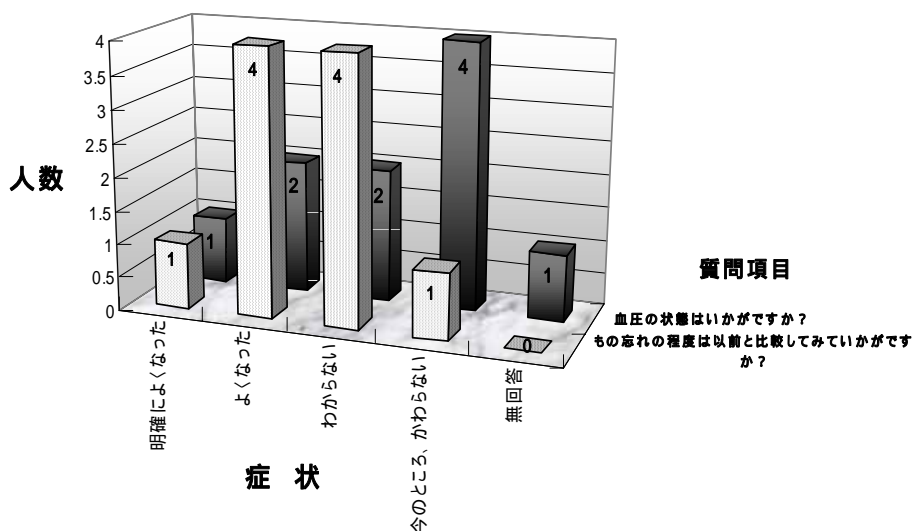
【方法】 試験調査期間は、2004 年 12 月 30 日から 2005 年 1 月 25 日にかけての各人 1 週間から 2 週間の期間実施された結果をデータとして、グラフと表にまとめた。データ収集は、質問紙回答法に依った。

【結果】 結果については、次のように、表とグラフにまとめてみた。

本学食品研究所開発・新製品モニター結果：「ガンストップ」,「キオクアップ」

キオクアップに関して

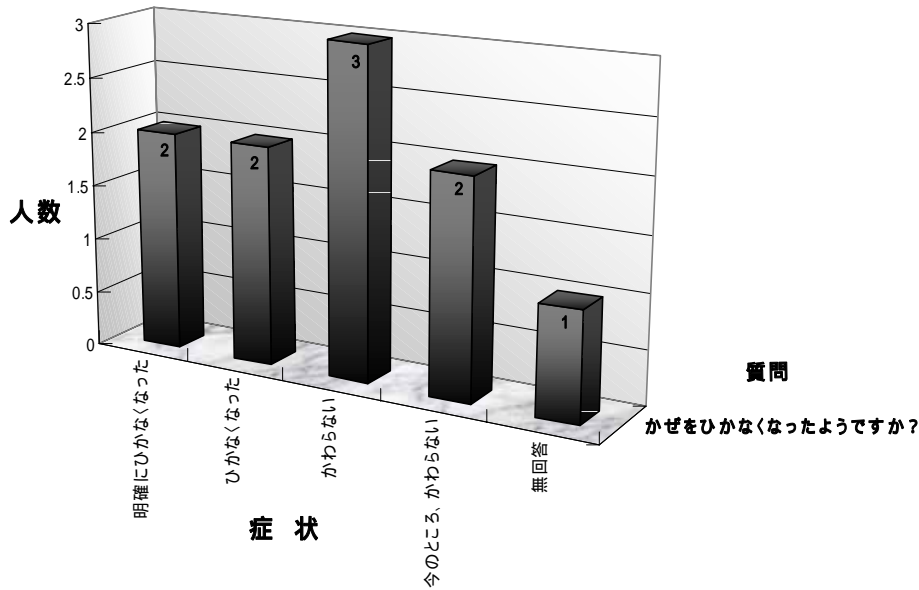
2005 年 1 月モニター実施 (於：イオンド大学東京本部)、対象：成人健常者 10 名



	明確によくなった	よくなった	わからない	今のところ、かわらない	無回答
□ もの忘れの程度は以前と比較してみているかがですか?	1	4	4	1	0
■ 血圧の状態はいかがですか?	1	2	2	4	1

ガンストップに関して

2005年1月モニター実施(於:イオンド大学東京本部)、対象:成人健常者10名



	明確にひかなくなった	ひかなくなった	かわらない	今のところ、かわらない	無回答
■ かげをひかなくなったようですか?	2	2	3	2	1

[結び] 本モニターについて、「キオクアップ」に関しては、統計に表れた通り、症状に改善作用が見られた。免疫力の正常化作用を示すメシマコブやフコイダンが配合された「ガンストップ」に関しては、免疫力の正常化・向上を主目的としているが、被験者が健常者であったため、今回、改善作用は明確とまでは行かないが、普段、風邪を引きやすかった被験者がひきづらくなったという予測通りの見解も得ることができた。安全性は勿論のこと、副作用の症例も全く出て来ていない。また、イチョウ葉エキスにあってはドイツ等のヨーロッパ諸国にて、メシマコブにあっては韓国にて「薬品」として認められていることもあり、日本国内にあっては、あくまでも健康栄養補助食品として位置付けられるものの、その機能性に有意な数値を得ることができたと言える。

諸外国にあっては、効果の確かな素材を配合し、産業界との連携によって誕生した本学の「ガンストップ」,「キオクアップ」の両製品を皆様の目的に合わせて適切に使用され、ご健康にお役立て下さることを願って止みません。

国連 WHO 関連 IUHPE 国際健康教育ユニオン、日本医学会(日本癌学会、日本免疫学会)正会員
 米国イオンド大学健康医科学研究センター長 医学博士 清水 徹, Ph.D.